



2022年5月13日

各位

会社名 株式会社 オプティム
 代表者名 代表取締役社長 菅谷 俊二
 (コード番号: 3694 東証プライム市場)
 問合せ先 管理担当取締役 林 昭宏
 (TEL. 03-6435-8570)

通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績予想と本日公表いたしました実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想と実績値との差異(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,269 ~9,020	1,121 ~2,000	1,121 ~2,000	695 ~1,240	12.63 ~22.53
実績値(B)	8,310	1,534	1,485	943	17.14
増減額(B-A)	41 ~△709	413 ~△465	364 ~△514	248 ~△296	
増減率(%)	0.5 ~△7.9	36.9 ~△23.3	32.5 ~△25.7	35.8 ~△23.9	
(参考)前期実績 (2021年3月期)	7,517	1,808	2,000	1,237	22.49

2. 差異の理由

当社グループは、第4次産業革命の中心的な企業となるべく、〇〇×ITを推進していくにあたり、今期においては、デジタルを活用した事業創造のためのデジタル化を「Industrial DX」、社内業務改善・効率化のためのデジタル化を「Corporate DX」と分類し、2つのDXを推進することで、新たな市場を開拓することを目標に成長投資を実施してまいりました。

「Industrial DX」については、農業分野、医療分野、建設・土木分野において新たなサービスを展開し、着実に成果を上げつつあります。「Corporate DX」については、新たなサービスとして「Optimal Remote Web」、 「Optimal Remote IoT」、 「OPTiM ID+ (プラス)」、 「OPTiM Contract」、 「OPTiM Digital Marketing」などを発表しました。いずれも将来的なストック収入の底上げとなるサービスであり今後の販売拡大が期待されております。

その結果、レンジ形式で予想開示をしておりました当社グループの売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益について、レンジの範囲内で上記のとおりの実績となりましたので、業績予想との差異を公表いたします。

以 上